

# わたしたちの 町会・自治会



おそろひのつくり

## 南田園の今昔

南田園一丁目町会 持田 洸

私は縁あって昭和46年にこの地を住まいとして購入しました。当時は一面の田んぼでした。この旧称「下河原地区」一帯は、昭和44年から50年にかけて土地区画整理事業が施行され、団塊の世代の家庭の多くが、ここに住宅を建て移り住み、急激に人口増加したものです。南田園としての町名変更や昭和57年の睦橋の開通、多摩川沿いの中央公園や南公園の設立整備事業などを経て、あれから約30年、現在南田園一、二、三丁目町会と福生団地を合わせて区域世帯数約2千3百世帯となり、住宅地域として様変わりをしています。

自然環境は、昭和37年頃から、土手沿いに植えられた桜も見事に桜並木となり、毎年「桜まつり」が開催され、本年度第24回を迎えました。

桜の見頃には各種イベントもあり、5〜6万人の人数で賑わっています。また、土手沿いも遊歩道として整備され、格好のウォーキング道路となっております。朝・夕には野鳥の声を聞きながら散策している人も多く見受け

られます。

住まいの環境づくりは、私ども町会の懸案事項で、安全で快適な暮らしは、町会の永遠のテーマとも言えます。この地域は多摩川に隣接し、かつ福生市の中で一番低い地域なので、特に水防に対する関心が深く、毎年、消防署熊川出張所・地元消防団・市のご協力をいただいで、4地区合同企画で「水・防災訓練」を実施しております。

また、南田園全町会、福生団地自治会では、福生市の祭礼に合わせて「夏まつり」を実施し、盆踊り・お神輿・屋台・ビンゴゲームなどで皆さんが楽しんでいきます。



水・防災訓練

地域の文化行事として芽生え定着してきたように思います。将来、桜並木に巣箱をおいた子どもたちが、この地を「ふるさと」として思い起こしてくれるよう…：そして自然と共生できる環境づくり…それが私の願いです。

## 力になれる町会を目指して

富士見台町会 溝渕幸太郎

当町会は、わらつけ街道と国道16号線に挟まれ、五丁橋通りの南に位置し、都営アパートと一般住宅の住民によって成り立つ、会員数420世帯程の町会です。町会会則には、この会は、「会員相互の交流・親睦を図り、文化的衛生的な環境の維持向上に力を注ぎ、明るく住みよい地域を目指す、民主的自主的団体である」と明記されており、この基本理念を基にして、会の運営が行われております。

毎年度当初開催される定期総会には、120名超の会員が出席し、提案事項に対して活発な討議が行われ、一年の反省と新年度の活動・行事が決められます。その際に、重点目標が提案されるのですが、例えば（これは数年にわたっての例ですが）今年「世代間の交流を密にする方